

令和2年2月12日

## 高血圧・内分泌内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある） の患者さんまたはご家族の方へ

### －臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い－

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

#### [研究課題名]

「原発性アルドステロン症に関連する検査結果や患者要因と治療効果の関連の解明」

[研究機関] 東京女子医科大学病院高血圧・内分泌内科

[研究責任者] 市原 淳弘 高血圧・内分泌内科 教授・講座主任

#### [研究の目的]

原発性アルドステロン症における診断と負荷試験等の各種検査結果がどのように関連するかを解析することで、より効率よく精度の高い診断手法を明らかにする。また、負荷試験や副腎静脈サンプリング等の検査結果および体格などの患者要因と、手術やミネラルコルチコイド受容体拮抗薬による治療後の変化を解析することで、どのような場合にどの程度の治療効果が得られるかを明らかにし、治療選択の補助とする。

#### [研究の方法]

##### ●対象となる患者さん

2000年1月1日から2020年1月31日の間に原発性アルドステロン症の疑いで入院精査を受けた方

##### ●利用するカルテ情報

- ① 臨床所見 [年齢、性別、身長、体重、血圧、病歴に関する情報（服薬歴、既往歴、家族歴、喫煙歴、飲酒歴）]
- ② 血液所見（腎機能、電解質、尿酸、血漿アルドステロン濃度、血漿レニン活性、PTH）
- ③ 24時間蓄尿・随時尿所見（電解質、アルブミン、タンパク、アルドステロン、クレアチニン、コルチゾール）
- ④ 負荷試験所見（カプトリル負荷試験、生理食塩水負荷試験、立位・ラシックス負荷試験、迅速 ACTH 負荷試験）
- ⑤ 副腎静脈サンプリング所見（ACTH 負荷前後の血漿アルドステロン濃度、コルチゾール）
- ⑥ 病理学的所見
- ⑦ 術前後の投与薬剤（降圧薬、カリウム製剤、ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬）
- ⑧ 治療反応性

**[個人情報の取り扱い]**

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

\*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

**[問い合わせ先]**

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院 内分泌内科学講座 担当医師 谷田部 緑

電話 03-3353-8111 FAX 03-5269-7617